

# 南高魂

令和元年12月23日発行  
北海道旭川南高等学校  
学校だより 第4号

## 課題研究発表会

### 1年次 ライフプラン 2年次 課題研究

総合学科の特徴の一つに「産業社会と人間」(1年次生)、「総合的な学習の時間」(2年次生)があります。本校では一年間の学習のまとめとして1年次に将来にわたる「ライフプラン」の作成、2年次には各自の研究テーマによる「課題研究」を行っています。その優秀者の校内発表会を、PTAと市内の高校と中学校などにご案内して12月19日(木)に開催いたしました。今年度は森重正也氏(旭川大学短期大学部教授)、芳賀均氏(北海道教育大学旭川校講師)をお招きして、講評もいただきました。各クラスやゼミの代表は、年次の発表時よりさらに工夫を凝らして研究してきた成果を発表していました。これらの企画を通して、本校ではキャリア教育の充実とプレゼンテーション能力の向上を図っています。

#### ◎発表者(当日の発表順)

##### 1年次《ライフプラン発表》

- ① 山口 真依 「My Dreams」
- ② 岡崎 千歳 「蛍光ペン」

##### 2年次《課題研究発表》

- ① 澤田 美友 「悪夢を見ない方法」
- ② 石津 宏人 「洋楽から学ぶ英語表現」
- ③ 小野 紘佳 「文豪とうつ病と自殺の関係性」
- ④ 細川 美羽 「聴覚障害者にとっての旭川」
- ⑤ 高木 明歩 「犬・猫の殺処分 ～現状とこれから～」



#### 課題研究発表会を終えて

2年4組 細川美羽

全校生徒・先生の前で発表するには勇気がいりましたが、何とか無事に発表が出来ました。他の方の発表もとても素晴らしく「ハッ」と気づかされることが多く貴重な体験になりました。

## 将来の夢を見据えて

### 1年次は「大学見学会」を実施

本校1次生237名が、10月21日(火)に「産業社会と人間」の取り組みの一環として今年度も以下の上級学校へ見学会を実施しました。生徒達は、それぞれ自分の希望する大学を訪問し、施設見学や模擬講義・体験演習などを通して、自己の進路実現に向けての意識をさらに深めることができました。



「大学見学会に参加して」

1年2組 星 紫月

10月21日に大学見学会がありました。私は教育分野に興味があったため、北海道教育大学旭川校と名寄市立大学のコースを選択しました。最初に向かった教育大学での模擬授業は、当然私たちが理解できるものではなく「こんな授業があるんだ～」という程度で終わりました。しかし、先輩方の話を聞いて「やっぱりここに行きたい」とより一層思いました。また学食の体験もでき、安さと美味しさに感動しながら名寄に向かいました。名寄市立大学では教育とは違う分野の授業を受け、大学選択の幅が広がった気がします。この体験をこれからの進路に役立てていきたいと思いました。

### 「社会人講話」

#### ～「働くことの意義」について議論～

12月5日(木)6、7時間目「総合的な学習の時間」を利用して、「社会人講話」を実施しました。今回は、各界で活躍されている3名の経営者を講師に招き、3つの会場に分かれ「働くことの意義」というテーマで講演をしていただき、講演の内容を基礎にパネルディスカッションを実施しました。初めての試みであり、若干の不安もありましたが、ディスカッションに参加した生徒を中心に活発な議論が展開され「学ぶことの意義」「働くことの意義」について、生徒は真剣に考えていました。

### 「ワークシート」より

「学ぶことの意義」：なりたいたい自分になるため。自分がやりたい仕事に就けないわけではない。自分がつきたい職業に就くためにたくさん学ぶことで多くの可能性や道が開ける。

「働くことの意義」：自分のしたいことをすることも大事。しかし、生きるためには働かなくてはならない。その中で自分がやりたいことをやる。誰かの喜ぶ姿を見たい。そのような思いを持って働くことが大切である。  
(2年3組 細川美月)

### 2年次は「出張講義」を実施

本校2年次生233名が、12月12日(木)6、7時間目「総合的な学習の時間」を利用して、外部講師による「出張講義」を受講しました。この講義では、各大学から各分野の教員に來校いただき、大学における学問の学び方や大学教育を実際に体験することで、進路意識を高めると共に興味関心を喚起する目的で毎年行われているものです。生徒達は、7つの学問系統の中から自分の興味のある学問系統の講座にそれぞれ参加し、普段の授業では味わうことのできない専門的な内容に耳を傾けていました。講座の後半では積極的に講師の先生方に質問をするなどして、進学に対する意識を高めることができました。



# 見学旅行



10月19日(土)~23日(水)、2年次生が下記の日程で見学旅行を実施しました。今年度の見学旅行は、自主研修を中心に据え、事前学習を行い、事前に学んだ文化財などをその目で確認し、学びを深めました。また、事前学習などを通して、複数の人の意見をまとめる過程や難しさを学ぶとともに、普段の学校生活では見られない仲間の一面を発見するなど、見学旅行を通して学年団の結束を強めることができたと思います。「高校生活最大の行事」の名に相応しい思い出いっぱいの見学旅行となりました。

10月19日	学校→千歳空港→伊丹空港→(大阪自主研修)→ホテル
10月20日	ホテル→法隆寺→奈良公園→薬師寺→旅館
10月21日	旅館→(関西地区自主研修)→ホテル
10月22日	ホテル→東京→舞浜→東京ディズニーリゾート→ホテル
10月23日	ホテル→(東京自主研修)→羽田空港→旭川空港



## 見学旅行を振り返って

実際にその土地を訪れ、その土地を踏むことで感じられるものは見学旅行前に思っていたものとは全く違いました。インターネットや本だけの知識を得るのではなく、自分のからだを使うことで得るものは、自分自身を成長させてくれたと思います。今回の旅行を通して、実際に触れ体験することの大切さを多く感じ、今後も多くの場所を訪れたいと思うようになりました。(1組16番 村田岳斗)

4泊5日の見学旅行は、本当に楽しく思い出に残るものとなりました。今回の旅行は、普段の生活では築くことのないようなことを学べる良い機会でした。改めて集団行動の大変さや他人に対する思いやりの大切さを学び、「今後の生活にいかしていきたいと思います」と思いました。怪我なく、笑顔で帰ってくるのが出来たので本当に良かったです。(2組21番 今井愛梨)



# 夢、実現に向けて

推薦入試・AOおよび就職試験の結果が次々と発表され、12月16日現在進学・就職合わせて87名(延べ人数)の合格・内定が出ています。3年間の成果が結実した結果と、大変うれしく思います。今年度の受験は一般受験が中心です。いよいよ追い込みも佳境となりました。

今後、3年次生は1月のセンター試験を皮切りに一般入試が本格化し、それぞれの志望校合格を目指して追い込みを迎えます。今こそ夢実現の時、頑張れ南高生!

## 旭川南高等学校進路状況

12月16日現在

		国公立四大		国公立短大		大学校等		私立四大		私立短大		高等看護		専修学校		就職		その他		合計
		道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外	
進路希望者数	男子	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	2	1	6	0	0	0	17
	女子	2	0	0	0	0	0	18	4	9	0	4	0	20	3	9	2	0	0	71
	小計	2	0	0	0	0	0	24	6	9	0	4	0	22	4	15	2	0	0	88
	合計	2		0		0		30		9		4		26		17		0		88

※『就職』は、公務員(男子5名 女子6名) 民間(男子1名 女子5名)です。

## 南高生の活躍

書道部 笹木さん 全国第二席  
少林寺拳法部 越智さん 全国大会出場

- 書道部** 第25回国際高校生選抜書道展 団体 北海道優秀校 個人 大賞(全国二席) 笹木聖菜  
第53回全道高等学校書道展 北海道高等学校文化連盟賞 山北夏未 亀山琴末 笹木聖菜  
第64回全道学校書道展 特選 遠藤麻白 北山夏未 加藤 舞 亀山琴末 笹木聖菜  
藤野戸里咲 新江舞子 石仙愛弥 沢目彩華 大塚義人 北嶋まりん  
第71回北海道学生書道展覧会 特選(臨書) 藤野戸里咲 新江舞子 (創作) 加藤 舞
- 放送局** 令和元年度北海道高等学校文化連盟第42回放送コンテスト出場
- 演劇部** 第69回全道高等学校演劇発表大会 高文連上川支部最優秀生徒講師委員 高橋奈那
- 少林寺拳法部** 第26回北海道高等学校少林寺拳法新人大会 女子規定単独演武 優勝 越智菜名美(全国大会出場)
- 卓球部** 令和元年度 北海道高等学校選抜卓球大会 学校対抗 男子2回戦進出 女子2回戦進出
- テニス部** 令和元年度北海道高等学校秋季テニス大会 男子団体 2回戦進出 女子団体 2回戦進出 男子ダブルス 藤田琉之介・宮脇恵吾組 1回戦敗退 女子シングルス 村上万唯 2回戦進出 女子ダブルス 鈴木ひなた・本居優希組 1回戦敗退 村上万唯・鎌仲紗彩組 3回戦進出(ベスト16)
- 弓道部** 第41回北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会 個人戦 男子 渋谷駿作 予選敗退 女子 佐藤虹南 予選敗退

